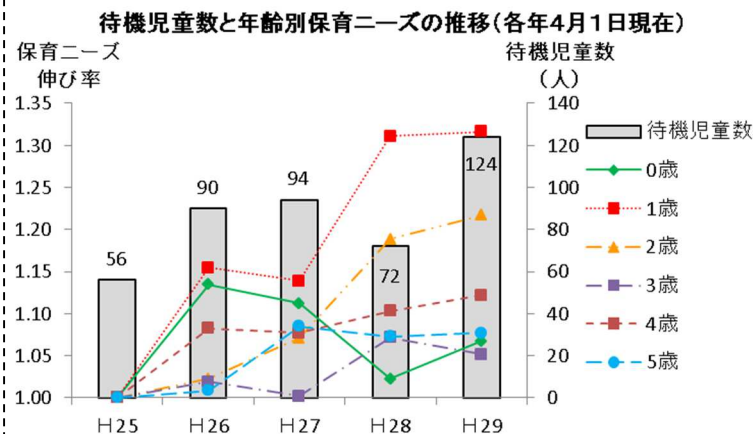


## 待機児童解消のための緊急対策プラン（案）（H29～H32）

## ● 保育ニーズと待機児童数の現状

## 【保育ニーズの状況】



※ 0歳 (H28.4月: 137人→H29.3月: 694人 +557人)

## 地区別保育ニーズ



## 【待機児童の状況 (平成 29 年 4 月 1 日現在)】

待機児童の内訳(地区別×年齢別) (単位:人)

地区別	年齢別						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
西条	9	27	28	16	3	1	84
八本松	2	6	3	11	1		23
志和							0
高屋			4	1			5
黒瀬		4	5	1			10
福富							0
豊栄							0
河内							0
安芸津			2				2
計	11	37	42	29	4	1	124

- **9割が0歳から3歳までの低年齢児**
- **7割が西条地区に集中**
- **年度後半に急増する (H28・4月→3月: +175人)**
- **3歳以下の受皿が年度当初から不足**
- **公立・私立全体で最大70人の保育士が不足**
- **H32年度の定員不足 (保育所適正配置基本構想)**  
西条北部: **267人**、西条南部: **87人**、高屋: **56人**

## 【待機児童解消のための目標 (H32.4月まで)】

- **3歳以下の定員確保 +320人**
- **保育士確保 +80人**
- **利用者支援による待機児童の発生防止 ▲60人**

## ■ 緊急かつ重点的に実施すべき対策 (案)

## 1 即効性を見込む項目

- ・ 低年齢児保育室の整備
- ・ 保育コンシェルジュの設置
- ・ 保育施設の巡回支援

## 2 中長期的に検討する項目

- ・ 公立保育所の移転民営化による定員増
- ・ 私立保育所・幼稚園・小規模保育事業による定員増
- ・ 企業立地等による人口急増地域への対応
- ・ 奨学金の返還支援

## 3 既存事業の継続・拡充

- ・ 企業主導型保育事業の積極的展開
- ・ 保育士就職相談会の開催
- ・ 施設長研修・若手保育士交流セミナーの実施
- ・ 保育士の処遇改善
- ・ 保育士確保キャラバンの実施
- ・ 公立保育所の臨時保育士確保